

家畜の伝染病の 侵入防止への 協力をお願い



今、世界では**アフリカ豚熱**と**口蹄疫**という家畜の伝染病のまん延が大きな問題となっています。これらは、肉製品や衣服、靴などを介して感染拡大します。これらが日本に侵入すれば、畜産物の安定供給に深刻な悪影響を与えるおそれがあります。国内への侵入を防ぐため、皆様の協力が必要です。

01 アフリカ豚熱、口蹄疫とは

アフリカ豚熱 (ASF)



特性

致死率はほぼ100%（甚急性型、急性型の場合）
ウイルスは長期間にわたって環境中に生存（冷凍なら**1,000日**以上も）
● pH4~11でも、血液や糞便中でも、豚肉や加工品（塩漬ハム等）の中でも生存できる

予防・治療

有効な治療法や予防法はない、ワクチンはない

損害

中華人民共和国で死亡・殺処分により飼養頭数が4割減り、豚肉価格が2倍以上に（2019年の事例）

口蹄疫 (FMD)



特性

口や蹄にできた水疱が痛くてエサを食べなくなり、産業動物としての価値が著しく低下
ウイルスの感染力が極めて強い
● 空気感染する（風に乗って**60km**以上離れた農場に移った例も）
● 豚1頭が1日に排出するウイルス量は牛を最大**1,000万頭**感染させる量に相当

予防・治療

有効な治療法はない、ワクチンはあるが感染自体は防げない

損害

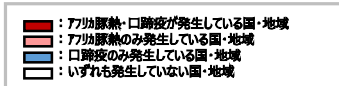
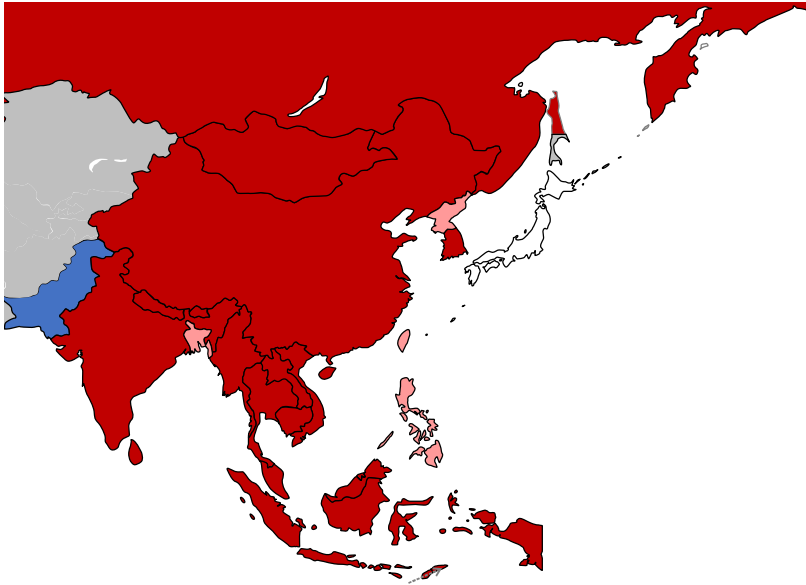
過去に国内で30万頭の牛・豚を殺処分し、2,350億円の被害（2010年の発生に関する宮崎県の試算、関連産業含む）

※ いずれの病気も人への感染の心配はない注

注：海外では口蹄疫ウイルスに極めて濃厚に接して感染した事例がごくまれに報告されるが、通常の生活の中で人に感染することはない。万が一感染した場合は軽い発熱や口内炎になる程度で速やかに回復し、死亡例はない。

02 アジアでの発生状況

- アフリカ豚熱は、2018年に中国に侵入後、**アジア各国に拡大**。
 - 口蹄疫は、**多くの国で継続的に発生**。
 - **いずれの病気も発生していないのは日本などごく限られた国・地域のみ**※。
- ※ 日本では過去に口蹄疫が発生したことがあるが、その後清浄化している。



2025年11月1日時点
 出典：WOAH、各国のウェブサイト等
 注1：本資料における「発生」はWOAHに報告されたもの
 注2：初発年はWOAHに発生が報告された年
 注3：口蹄疫発生国・地域は2022年以降で、括弧内は発生数

アフリカ豚熱の初発発生年

国・地域名	初発発生年
中国	2018年
香港、モンゴル、北朝鮮、韓国、ベトナム ラオス、カンボジア、フィリピン、ミャンマー インドネシア、東ティモール	2019年
インド	2020年
マレーシア、タイ、ブータン	2021年
ネパール	2022年
シンガポール、バングラデシュ	2023年
スリランカ	2024年
台湾	2025年

口蹄疫発生国・地域

国・地域名	発生年
中国(1)、インド(103)、インドネシア(不明) カンボジア(24)、スリランカ(67)、タイ(108) ネパール(66)、パキスタン(不明)、ブータン(3) ベトナム(17)、マレーシア(28)、モンゴル(5)	2022年
中国(4)、インド(49)、インドネシア(不明) カンボジア(16)、スリランカ(1)、タイ(15) ネパール(34)、パキスタン(不明) ベトナム(25)、マレーシア(8)、韓国(11)	2023年
中国(3)、インドネシア(不明)、タイ(2) ネパール(36)、パキスタン(不明) ベトナム(44)、マレーシア(15)	2024年

注：検査体制や、まん延により報告が十分でない場合やワクチンにより発生が見えにくく汚染状況と発生数が一致していない場合がある。

03 侵入を防ぐためにできること

1 海外から肉の入った食品を持ち込まない

- 感染した肉を**動物が食べる**と感染
- 不法持込された肉製品から**生きたアフリカ豚熱ウイルス**を発見

持込禁止



2 野外に肉の入った食品を捨てない

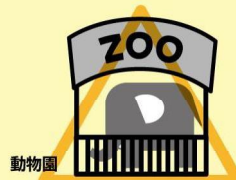
- ハイキングのお弁当やバーベキューの**食べ残し**、**ごみ**からも感染
- アフリカ豚熱に感染した肉の入っていた**トレー**を**イノシシ**が**舐めた**だけで感染
- 海外では**野生イノシシ**で**アフリカ豚熱**が**まん延**し、**根絶**が困難に

野外放置禁止



3 帰国後1週間は動物に近づかない

- **服や靴**についた**ウイルス**を介しても感染



アフリカ豚熱ウイルスの侵入を防ぐためのお願い

侵入経路 ①

肉類に付着



肉の入った食品を
国内に持ち込まない

国内持込禁止



肉の入った食品を
野外に捨てない

屋外放置禁止



侵入経路 ②

人に付着



海外では

- 靴などについた土は落とす
- 動物がいる施設に行かない

注意



空海港では 指示に従って消毒



国内では

- 帰国後1週間、観光牧場等に行かない
- 家畜がいる施設に近づかない
- 野生イノシシや鼠・柵に近づかない



農林水産省

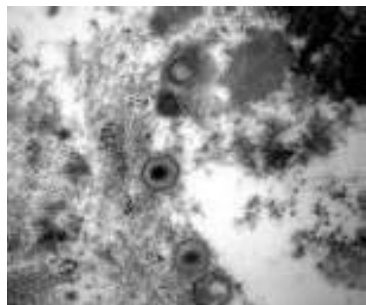
ぶたねっ

アフリカ豚熱 (ASF)

アフリカ豚熱ウイルスが原因で、豚やイノシシがかかる病気です。発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い伝染病です。

1909年にケニアで初めて確認され、アフリカや欧州で広く発生したのち、2018年8月にはアジアで初めて中国での発生が確認され、その後アジア各国に拡がりました。

現時点で有効なワクチンや治療法はなく、感染すると致死率ほぼ100%。これまで日本での発生はありませんが、日本に近い韓国でも発生が相次いでおり、いま最も日本への侵入を警戒している病気です。



アフリカ豚熱ウイルス



豚・イノシシ



死亡



元気消失



肛門からの出血



チアノーゼ



下痢

感染が拡がった中国では豚の飼育頭数が一時約4割も減り、豚肉価格が2倍以上にまでなったといわれています。(2019年の事例)

こうていえき □ 蹄 疫

□蹄疫ウイルスが原因で、偶蹄類の家畜（牛、豚、山羊、綿羊、水牛など）や野生動物（ラクダやシカなど）がかかる病気です。

□蹄疫は偶蹄類動物に対するウイルスの伝播力が非常に強く、畜産業のみならず、社会・経済に及ぼす影響が大きいことから、世界で最も恐れられている家畜の伝染病の一つです。



□蹄疫ウイルス



偶蹄類の動物

□蹄疫に感染すると、発熱したり多量のよだれを出したり、□の中や蹄のつけ根、鼻などに水疱（水ぶくれ）ができたりするなどの症状が現れます。

感染した動物は、多量のウイルスを排出し、またたく間に感染が広がっていきます。



鼻にできた水疱



蹄にできた水疱



多量のよだれ



舌にできた水疱・びらん



平成22年に宮崎県で□蹄疫が発生した際には、家畜伝染病予防法に基づき、約30万頭の家畜が殺処分されました。